

# 平成 29 年度第 3 回滑川市地域公共交通会議 会議録

## 開 催 概 要

- 日 時 平成 29 年 12 月 26 日（火） 午後 2 時～ 3 時 30 分
- 場 所 滑川市役所本館 3 階大会議室
- 出席者 委員 17 名

## 出 席 状 況

### ■委員名簿

選出区分	団体名・役職名	氏名	出欠等
学識経験者	富山国際大学現代社会学部教授	長尾 治明	本人出席
住民又は利用者の代表	滑川市自治会連合会長	澤田 隆之	本人出席
住民又は利用者の代表	悠友クラブ滑川会長	柿澤 清喜	本人出席
住民又は利用者の代表	滑川市小中学校 P T A 連合会長	石坂 教洋	欠席
住民又は利用者の代表	滑川市民生・児童委員協議会長	砂子 良治	本人出席
住民又は利用者の代表	滑川市連合婦人会長	原 洋子	本人出席
住民又は利用者の代表	滑川商工会議所専務理事	森 忠雄	本人出席
一般乗合旅客自動車運送事業者の代表者	富山地方鉄道株式会社 自動車部副部長（運行管理課長）	藤城 哲治	本人出席
一般貸切（乗用）旅客自動車運送事業者の代表者	㈱佐々井タクシー代表取締役 （コミュニティバス運行業務委託業者）	佐々井 光國	本人出席
一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体の代表者	富山県交通運輸産業労働組合協議会 議長	石橋 剛	本人出席
鉄道事業者の代表者	あいの風とやま鉄道株式会社 総務企画部企画課長	寺井 宏友	本人出席
鉄道事業者の代表者	富山地方鉄道株式会社 鉄軌道部運転管理課長	清水 浩二	欠席
国土交通省北陸信越運輸局富山運輸支局長又はその指名する者	北陸信越運輸局富山運輸支局 首席運輸企画専門官（輸送・監査担当）	中村 幸春	本人出席
国土交通省北陸信越運輸局富山運輸支局長又はその指名する者	北陸信越運輸局富山運輸支局 首席運輸企画専門官（企画調整担当）	山岸 忠政	本人出席
富山県滑川警察署の職員	滑川警察署交通課長	堀田 浩範	本人出席
富山県の職員	富山県観光・交通・地域振興局 総合交通政策室次長	長田 知	代理出席 木田 猛
富山県の職員	富山県新川土木センター 工務第一課長	川口 歳則	本人出席
滑川市の職員	滑川市副市長	石川 忠志	本人出席
滑川市の職員	滑川市産業民生部長	碓井 善仁	本人出席

### ■事務局

産業民生部生活環境課 黒川課長、平野係長、谷川係長

## 会 議 次 第

- 1 開会
- 2 協議事項
  - (1) 滑川市地域公共交通網形成計画（素案）について
  - (2) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について
- 3 その他
  - ・今後のスケジュールについて
- 4 閉会

## 会 議 録

### 1 開会

#### 【事務局】

ただいまより、「平成 29 年度第 3 回滑川市地域公共交通会議」を開催いたします。皆様には何かとお忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。本日司会を務めさせていただきます、生活環境課長の黒川です。よろしく願いいたします。本日の会議は、石坂委員及び清水委員は、ご都合により欠席されております。

～ 資料確認 ～

本日は、滑川市地域公共交通会議設置要綱に基づき傍聴の申出がありましたので、傍聴人が入室しております。

本会議の座長につきましては、前回に引き続き長尾委員にお願いしたいと思いますので、委員の皆様のご了承を賜りたいと思います。

それでは、長尾委員、座長席へお願いいたします。

### 2 協議事項

#### 【長尾座長】

前回 10 月 16 日の第 2 回会議では、アンケート調査結果、上位・関連計画及び公共交通の利用環境、市内公共交通の課題整理、先進事例・類似事例の整理を行い、皆様方に協議をいただいています。本日は 2 件の協議事項について進めていきたいのでご協力を賜りたいと思います。

それでは、協議事項 2 の (1)、滑川市地域公共交通網形成計画（素案）について、事務局より説明をよろしく願いいたします。

#### 【事務局】

- (1) 滑川市地域公共交通網形成計画（素案）

～ 事務局説明 ～

#### 【長尾座長】

ありがとうございました。では、ただいまの説明に対してご意見、ご質問等あればよろしくお願いいいたします。

**【寺井委員】**

あいの風とやま鉄道の寺井と申します。2つほど質問します。まず、69ページの具体的な取組方針の3番目ですが「駅等に既設の液晶ディスプレイを活用し」とありますが、これはあいの風とやま鉄道のディスプレイを活用することを想定されているのでしょうか。また、71ページの「公共交通窓口一本化の検討」と、ざっくりとした書き方になっていますが、どのような想定をされているのでしょうか。

**【事務局】**

1番目のご質問であるディスプレイについては、あいの風とやま鉄道さんのディスプレイを想定していますが、実施できるかどうかあいの風とやま鉄道さんとの協議を含めた検討は必要と思っております。71ページの公共交通窓口一本化については、複数の交通機関からどれを選べば良いか分からない市民や観光客の方が、市に電話をかけてこられた際に総合交通案内するような窓口を想定しております。

**【寺井委員】**

ディスプレイは、あいの風とやま鉄道の画面を切り替えるような想定ですか。

**【事務局】**

具体的にはそこまで考えておりません。ただ、ディスプレイがあることは承知しておりますので、それを活用して何らかの情報提供が出来ないかということです。

**【寺井委員】**

活用できるかどうかは確認してみないと分かりませんが、難しい気もします。

**【事務局】**

抜本的な対策となると費用等もかかってきますので、あいの風とやま鉄道さんと、できるかできないかの協議をさせていただきたいと思えます。その上で難しければ、市単独のディスプレイ設置の検討も必要かと思えますが、費用面も含めて検討していきたいと思えます。

**【長尾座長】**

将来のことを考えれば、あいの風とやま鉄道さんとの連携も考えていったほうが良いと思えます。当初の段階ではできるかどうかの協議からスタートしていくという記述があっても良いと思えます。可能性も含めて両方で協議するというところからスタートされてはどうでしょうか。

71ページの窓口一本化も、検討事項が多い部分ではないでしょうか。一本化を目指していく場合にどのようなことが課題になってくるのか、経費面など、事前検討が必要になってくるかと思えます。研究、検討を行うという記述にそういう意味合いが含まれていると思えます。

**【事務局】**

窓口の一本化も簡単にはできないと思われませんが、まず可能性を研究、検討し、実施時期も後期に向け検討していくというスケジュールになっていますので、どういうニーズがあるのか、どういう問い合わせが想定されるのかなども含めて交通事業者さんと協議、検討していきたいと思えます。

**【長尾座長】**

前期・後期の区分けは、前期2年、後期3年か、前期2.5年、後期2.5年と考えれば良いのでしょうか。

**【事務局】**

本素案は国の「作成のための手引き」を参考に作成しているところですが、前期、後期という区分けは粗い表現になっていますので、年度ごとに何を実施するのか、ということをも具体化したいと思っています。

**【長尾座長】**

今日の時点では、前期、後期で記載されていますが、年度単位に実施時期が分かるように表示していきたいというご説明です。

**【柿澤委員】**

この計画は、市内の移動手段の確保という観点で書いていると思いますが、高齢者の立場から、市外への移動についても公共交通の利用を促進させるよう、是非お願いしたい。その理由は、警察で過去5年の交通事故を調べてもらったところ、滑川市における死亡事故の7割、人身事故の6割は、滑川市外の方が滑川市で起こされているようです。慣れない土地で事故を起こすというのが実態かと思えますので、滑川市内の高齢者が市外に出ていくときは気をつける必要がありますが、それであれば、それに見合った足まわりも十分に検討していただきたい。例えば中央病院への地鉄バスのアクセスなどがあります。我々老人クラブでも、慣れないところへは公共交通を利用しましょうと言っていきたいと思えますので、それに見合った対応も検討いただきたいと思えます。市内の通院や買物が多いのかと思えていたましたが、移動の実態を見るとそうでもない（市外への移動も多い）と思えます。

**【長尾座長】**

ご指摘の点をどこに記載するかは事務局で検討いただきたいと思えますが、市外から来る人の交通事故も多いということなので、公共交通を利用して隣接市へ行くことを促すという記述をお願いします。

**【事務局】**

柿澤委員からご指摘いただいたことに関連して、富山地方鉄道さんで、免許返納された方が運転経歴証明書を提示した場合に割引制度があると新聞で拝見したのですが。

**【藤城委員】**

免許返納者に対する新しい定期券制度を作り、今年の4月から実施しています。

**【事務局】**

富山地鉄さんのほうで先進的に取り組んでいただいているので、計画でもPRしたいと思います。

**【長尾座長】**

あいの風とやま鉄道の取り組みも載せていただければと思います。

**【山岸委員】**

57 ページで、基本方針1～3が掲げられていますが、活性化再生法に基づいて国が示している基本方針でいきますと、網形成計画に記載する基本的な方針というのは、地域で目指すべき将来像とともに公共交通が果たすべき役割を明確化した上で公共交通の活性化及び再生に向けた取り組みの方向性を示してください、となっています。素案に掲げられているものが、基本方針というより目標とか取り組むことのような気もするので、上位計画や関連計画も踏まえて（表現の）検討をしていただきたい。また、同じページにおいて、「コミュニティバス」という言葉を使っていますが、「のる my car」と地鉄バスも含めて考えているのでしょうか。言葉としての「コミュニティバス」と「バス」を適切に使っていただきたい。事務局の説明にもありましたが、資料にも地鉄バスは重要であると謳っている。地鉄バスに関する施策も掲載していただく必要があります。

各ページにある「具体的な取組方針」が、国の手引きにある「目標を達成するために行う事業」のことだと理解していますが、できれば具体的に表現していただきたい。

また、実施時期及び実施主体は、網形成計画の計画期間を5年と具体的に示されているので、平成31年度に検討、32年度に実験、33年度に本格実施、というように具体的に示されたほうが、将来PDCAサイクルを回していくときに具体的に検証できるので、ご苦労はあるかと思いますが見直していただければ。

**【事務局】**

山岸委員からご指摘いただいた基本方針の文言の取り扱い、言葉の整理については国の手引きを参照して、直せるところは直していきたいと思います。年次ごとの実施計画も、書けるところは具体的に書いていきます。

**【長尾座長】**

なるべく行動に近い形で表現していただければ皆さんも分かりやすいと思います。「コミュニティバス」は一般的に言うと「路線バス」と「地域で走っているコミュニティバス」を包含しているのでしょうか。読み手によって解釈が変わるかもしれませんが。

**【山岸委員】**

「コミュニティバス」は一般的には自治体が主体となって運行しているものを称しています。交通事業者の自主運営ではないというイメージです。

合わせて、言葉の定義を明確にした上で、記載箇所によって「鉄道・バス」や「コミュニティバス」など表現の使い分けをされれば良いのかなと思います。

**【事務局】**

57 ページの基本方針1の目標で「鉄道・コミュニティバス」という表現が出てきていますが、これは不適當であり修正します。

**【長尾座長】**

言葉の定義を整理してご説明いただければ分かりやすいと思います。

**【藤城委員】**

58 ページの施策目標値について、あいの風とやま鉄道さんや富山地鉄の各駅の利用者数の細かい数値はどこかのページに出てくるのでしょうか。

**【事務局】**

県の統計書に掲載されている、あいの風とやま鉄道の滑川、東滑川と地鉄の滑川、中滑川、中加積の各駅の乗降客数の合計を示しています。ただ、統計書に記載されていない駅の乗降客数について、地鉄さんから本市企画政策課に数字が示されているようなので、可能であればそれらも含めた目標値がいいかと考えています。西滑川駅は高校生の利用も多いので、地鉄さんと協議させていただいて公表してよろしければそれを基に目標値を設定したいと思います。

**【藤城委員】**

この利用者数目標値は、何らかの積み重ねで算出されているのでしょうか。

**【事務局】**

過去の伸び具合を勘案し、丸めて表現しているものです。

**【藤城委員】**

計画期間が平成30年4月から始まるとして、ダイヤ改正は6月を予定されている。まずは実態把握やダイヤ改正に向けた計画づくりから取り組むということでしょうか。

**【事務局】**

おっしゃるとおり、初年度はデータ収集を含め調査研究になると思います。ただし、6月の改正で取り入れられるものは取り入れる、利用者増につながる施策は実施したいと考えています。

**【長尾座長】**

朝日町においては、コミュニティバスの年間利用者数の目標数値を町全体で共有し

て、対前年 100%以上で利用者数を増加させるという機運を醸成されている傾向があります。

目標数値は、行政が勝手にやるのではなく市民にもこの目標を分かってもらい5年後には目標達成という共通目標として理解してもらうことが乗る機運醸成づくりに繋がっていくのではないのでしょうか。

滑川市では、市役所はもちろんプラント3など多くの人が集まる場所で、「のる my car」に関して利用者数の数値目標を立てて継続中であると掲げてもらうなど、会社に売上げ目標があるように、行政においても目標を（市民に）明示すべきではないかと思えます。市民との共有性や、高齢者をはじめ多くの方がコミュニティバスを利用してもらって、目標を達成できるよう数値が見えるようにポスターなどを作って啓蒙していくことはいかがでしょうか。

#### 【山岸委員】

朝日町の担当者の説明によると、（目標数値自身が）変なプレッシャーになってはいけないと言いつつも、月の利用者が60か月連続で前年を上回っていて、その結果を町民に示しており、目標達成記録を途切れさせたくないという機運で一生懸命バスに乗っているということを伺いました。みんなで「おらが町」のバスを他人事ではなく自分らで育て維持していくことは良いことだと思えました。

#### 【長尾座長】

市民一丸となって目標を達成しようというのは経営組織では当たり前のことですが、共有の目標として滑川市で全市民が協力して達成するという下地を作っていくと、他のことにおいてもそのような機運が出てくる可能性がある一方で、数値目標を市民も認識してほしいし、事務局のほうで目につく所にポスターを作って掲示するという仕掛けを検討していただけないかなと思えます。

取り組みに際しての経費のことは出てきていませんが、事業ごとの費用は一切触れずに、具体的に事業を行うときに事業ごとに予算計画で示していくという考え方がよいか。

#### 【事務局】

ご指摘のとおり、予算については現時点で一切触れていません。計画期間内に必要経費も含めて検討していきたいと思えます。特にバスの更新については、老朽化に合わせて年次更新計画を立てて、購入時期、走行距離、修繕状況等も踏まえて有利な財源を活用しながら実施していきたいと思えます。

#### 【長尾座長】

他にございませんでしょうか。

では、素案については、大筋でお認めいただけたということでよろしいのでしょうか。もしご意見があれば平成30年1月12日までにFAXやメール等でご連絡いただきたいと思います。ということなので、事務局へ意見をお寄せいただければと思います。

では、今の議論については以上として、協議事項(2)について事務局の説明をお願いいたします。

**【事務局】**

(2) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について  
～ 事務局説明 ～

**【長尾座長】**

ご質問、ご意見はありますか。  
ご意見については、返信用封筒に入れて返信いただければ幸いです。  
では、その他、今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いいたします。

**【事務局】**

本日お示しした滑川市地域公共交通網形成計画の素案についてはたたき台ですので、この会議終了後でもご意見があれば、1月12日までにFAXやメールでご連絡をいただければと思います。

今後、1月下旬に修正した計画案を文書会議の形で皆様にお示しします。事務局から計画案、新旧対照表、回答書を送付し、回答書で皆様のご了承を得られれば、2月中旬から3月中旬でパブリックコメントを実施したいと考えております。市のホームページ、生活環境課窓口、情報公開窓口、各地区公民館に資料を設置して意見を募集します。現在、市のホームページに地域公共交通会議のこれまでの会議録や資料を掲載していますが、パブリックコメント実施までに第3回会議録も掲載して、見ていただけるようにしたいと思います。

当初のスケジュールでは2月に第4回地域公共交通会議の開催を予定していましたが、開催を3月下旬に変更した上でパブリックコメントの結果や計画への反映についてお示しする予定です。なお、第4回地域公共交通会議では、例年3月に協議いただいている「のる my car」の次年度のダイヤ改正やルート変更についても協議いただく予定です。

**【長尾座長】**

ご質問、ご意見はありますか。

それでは、1月12日までに素案に対するご意見をFAX、メールでご連絡いただき、その後事務局で修正した計画案と新旧対照表とを分かるように示しますので、それに対する回答書の提出をお願いします。それを踏まえて2月中旬から3月中旬のパブリックコメントでご意見をいただくということになります。第4回地域公共交通会議は当初2月の開催予定でしたが、3月下旬に変更して、例年行っているダイヤ・ルートの見直しも合わせて検討することになります。よろしいでしょうか。

今日の協議事項は以上ですが、会議全体を踏まえて何かご意見はありますか。石川会長さん、いかがでしょうか。

**【石川会長】**

本日はお忙しい中、足下の悪い中ご出席いただきありがとうございます。

本日ご意見をいただいた点は修正した上で、パブリックコメントを踏まえ30年度から進めていきたいと思っております。



もともとコミュニティバスは高齢者の外出支援、子どもたちの通学など、交通弱者への対応という視点でやってきましたが、色々な要望が出てくる一方で、経費の面もあります。地域公共交通網形成計画の中では、コミュニティバスを通勤・通学のための速達性、商業施設や病院へのアクセス、コミュニティの要素をうまく繋ぎ合わせた交通網として考えているところです。先ほど、市民の皆さんと一緒に取り組んでいく必要性をご指摘いただきましたが、市民と協働のまちづくりを掲げている中で、まずバスに乗っていただくこと、そのために必要なダイヤ改正や各種イベントにおける利用促進の取り組みなど、いずれにしても市民の皆さんと一緒にになってコミュニティバスをもっと愛されるバスにしていきたいと思っておりますので、委員の皆様のご協力のほどよろしくお願いいたします。長尾座長には取りまとめいただきありがとうございます。

### 3 閉会

#### 【事務局】

長尾座長、ありがとうございました。

また、委員の皆様には長時間に渡り活発にご議論いただきありがとうございました。次回会議は3月下旬に予定しております。皆様方には、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い致します。

以上を持ちまして、平成29年度第3回滑川市地域公共交通会議を閉会いたします。本日はご苦労さまでした。